

## 令和6年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～ E組
教科書	新編言語文化（大修館書店）	副教材等	常用国語便覧（浜島書店）

### 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活	評価材料
4 5	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。	「漢字と仮名の使い分け」 「羅生門」  中間考査	日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	小テスト 行動観察 ワークシート分析 定期考査
6 7	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。	古文への招待 「児のそら寝」 訓読のきまり 格言 再読文字  期末考査	歴史的仮名遣いを理解し、古文の響きやリズムを味わう。僧たちがなぜかぎりなく笑ったのか考える。訓読のきまりを理解し、漢文を読み味わうために基本的な知識を身に付ける。漢字の音訓や熟語の構造を理解する。	小テスト 行動観察 ワークシート分析 定期考査
9 10	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	「高名の木登り」  「蛇足」  中間考査	作者のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。語られている教訓の意義について理解する。「蛇足」という言葉の意味について、考えを深める。	小テスト 行動観察 ワークシート分析 定期考査
11 12	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。	「夢十夜」  筒井筒  期末考査	作品の状況設定を的確に捉え、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	小テスト 行動観察 ワークシート分析 定期考査

月		単元名	学習項目	学習内容や学習活	評価材料
1	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	門出	文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み取る。内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。	小テスト 行動観察 ワークシート分析 定期考査
2			論語		
3			期末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	<p><b>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</b></p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。</p> <p>イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。</p> <p>オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。</p> <p><b>【我が国の言語文化に関する事項】</b></p> <p>ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>オ 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。</p> <p>カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。</p>
-------	---

<p>思考・判断・表現</p>	<p><b>【書く能力】</b>          ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。          イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p><b>【読む能力】</b>          ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。          イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。          ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。          エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。          オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。          (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。          (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>

#### 4 評価の方法

提出物の評価（授業で使ったプリントやワークシート・授業ノートなど）と定期考査（年間5回）の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価する。

#### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・受け身にならず、自分なりの視点・問題意識を持つよう心がけましょう。
- ・人の意見を聞くとともに、自らも積極的に発言しましょう。
- ・授業の予習・復習を心がけましょう。
- ・辞書を活用し、語彙力を身につけましょう。
- ・授業中感じた疑問点などはそのままにせず、積極的に質問しましょう。
- ・日ごろから自主的に読書に励みましょう。
- ・予定は変更することがあります。担当の指示をよく聞いてください。